Infectious Diseases Weekly Report
IDWR HIROSHIMA City
2016年第43週(10月24日～10月30日)

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

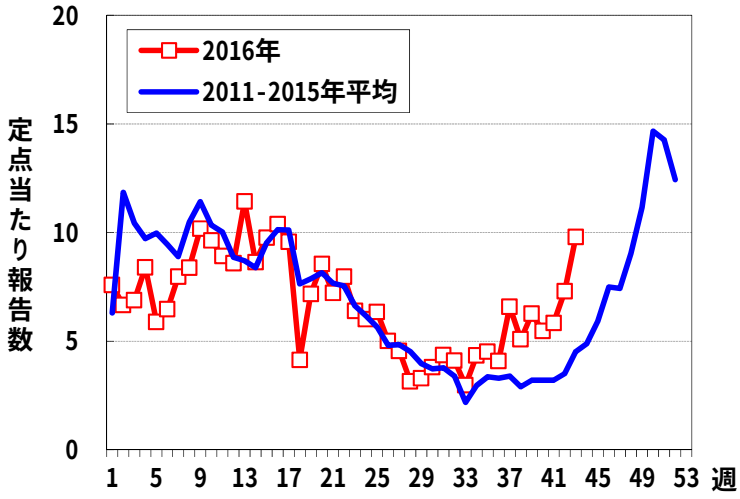
■コメント

1．**感染性胃腸炎**
定点当たり9.79人と、3週続けて増加しています。
冬季はノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎が流行しますが、患者数の増加が例年より早くなっていますので、注意が必要です。(次頁参照)

2．**インフルエンザ**
市内の定点医療機関から、9人(定点当たり0.24人)の報告がありました(迅速診断キット:A型陽性8人、B型陽性1人)。なお、広島市衛生研究所の検査では、今シーズンはインフルエンザウイルスA香港(AH3)型が3件、B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)が1件検出されています。

3．**手足口病**
定点当たり2.42人の報告があり、患者数が増加傾向です。

感染性胃腸炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	9	0.24	0.04	
小児科	咽頭結膜熱	3	0.13	0.29	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49	2.04	1.54	↗
	感染性胃腸炎	235	9.79	4.51	↗
	水痘	14	0.58	0.55	
	手足口病	58	2.42	0.67	↑
	伝染性紅斑	4	0.17	0.13	
	突発性発しん	7	0.29	0.50	
	百日咳	-	-	0.12	
	ヘルパンギーナ	21	0.88	0.12	↑
小児科	流行性耳下腺炎	10	0.42	0.79	
	RSウイルス感染症	25	1.04	0.81	↗
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	流行性角結膜炎	4	0.50	0.55	
基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	0.09	
	マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.37	
	クラミジア肺炎(ｵｳﾑ病を除く)	-	-	-	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	126	男性(70歳代)
4	レジオネラ症	1	19	男性(70歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	21	男性(10歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
5	侵襲性肺炎球菌感染症	3	12	男性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人、女性(90歳代)・1人

■定点把握感染症報告状況（週報対象）の推移

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎（ロタウイルス）
報告数	広島市	第39週	6	6	32	150	14	27	9	10	1	12	12	21	-	5	-	-	7	-	-
		第40週	12	5	44	131	4	33	4	15	1	26	13	32	-	7	-	1	1	-	-
		第41週	15	5	29	140	6	34	3	14	1	8	5	29	-	9	-	-	9	-	-
		第42週	10	8	40	175	6	32	5	10	-	14	7	20	-	4	-	-	3	-	-
		第43週	9	3	49	235	14	58	4	7	-	21	10	25	-	4	-	-	4	-	-
定点当たり	広島市	第39週	0.16	0.25	1.33	6.25	0.58	1.13	0.38	0.42	0.04	0.50	0.50	0.88	-	0.63	-	-	1.00	-	-
		第40週	0.32	0.21	1.83	5.46	0.17	1.38	0.17	0.63	0.04	1.08	0.54	1.33	-	0.88	-	0.14	0.14	-	-
		第41週	0.41	0.21	1.21	5.83	0.25	1.42	0.13	0.58	0.04	0.33	0.21	1.21	-	1.13	-	-	1.29	-	-
		第42週	0.27	0.33	1.67	7.29	0.25	1.33	0.21	0.42	-	0.58	0.29	0.83	-	0.50	-	-	0.43	-	-
		第43週	0.24	0.13	2.04	9.79	0.58	2.42	0.17	0.29	-	0.88	0.42	1.04	-	0.50	-	-	0.57	-	-
	全国	第41週	0.24	0.21	1.28	3.43	0.26	1.09	0.09	0.41	0.02	0.55	0.94	2.02	0.01	0.77	0.02	0.05	1.23	0.01	0.01
		第42週	0.37	0.22	1.72	4.36	0.29	1.04	0.13	0.43	0.02	0.40	1.27	1.90	-	0.89	0.02	0.08	1.61	-	0.02

■新たに判明した病原体検出状況

（検査：広島市衛生研究所）

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.0) 上気道炎	55	男	2016/09/21	鼻汁(拭い液)	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞｳｲﾙｽA(H3)型
その他の神経系疾患	眼振 ふらつき 小脳失調	5	女	2016/09/03	糞便	ｴｺｰｳｲﾙｽ25型
その他の疾患	発熱(39.3)	0	女	2016/09/19	髄液　糞便	ﾊﾟﾚｺｳｲﾙｽ4型
その他の疾患	発熱(39.3) 熱性痙攣	0	女	2016/09/23	糞便	ｴｺｰｳｲﾙｽ25型

＊感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

● ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう ●

【予防のポイント】

◆手洗いの励行

最も基本的なことは、手洗いの励行です。（特にトイレの後、便や吐物を処理した後、調理や食事の前など）手洗いは石けんを使用し、しっかりと流水で洗い流してください。

◆食品の十分な加熱

二枚貝等ノロウイルス汚染のおそれのある食品は、中心部まで十分加熱（85～90℃で90秒間以上）しましょう。

◆調理器具などの消毒

調理器具などは、洗剤を使用し十分に洗浄した後、塩素系消毒剤（＊）または熱湯で消毒しましょう。

◆便・吐物の適切な処理

患者の便、吐物には多量のウイルスが含まれていますので、処理の際には手袋やマスクを着用し、塩素系消毒剤（＊）で消毒しましょう。

＊塩素系消毒剤としては台所用塩素系漂白剤があります。使用に当たっては「使用上の注意」をよく読んで、適切な濃度に希釈して（薄めて）から使用しましょう。

詳しくは、広島市感染症情報センターＨＰ「感染症トピックス／ノロウイルスによる感染性胃腸炎」をご覧ください。
http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1265934252697/index.html

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
URL http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html

【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所　〒733-8650　広島市西区商工センター四丁目１番２号
TEL(082)277-6575　FAX(082)277-5666　E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp